



南米でも大型の部類に入るヒキガエル。体表は滑らか

和名 **キンイロヒキガエル**

学名 *Bufo guttatus*

分布 コロンビア、エクアドル、ベネズエラ、仏領ギアナ、ガイアナ、スリナム、ブラジル、ボリビア

体長 100~180mm

食性 昆虫類、節足動物など



南米北部を中心に分布する大型種。体表は滑らかで、イボ状突起は目立たない。耳線は長く、幅もある。目が大きく、虹彩は暗色。体色は明褐色から金属光沢のある褐色。背には赤褐色の斑が散る場合もある。四肢と体側・腹部は暗褐色から赤褐色。口角には小さな白い突起がある。河川に沿ったガレリア林に生息し、落ち葉の積もった林床に棲む。夜行性で、降雨時に路上に出てくることもある。ガイアナではまれな種だが、その他の分布域では一般的な種。フロンベルグヒキガ

エル *Bufo blombergi*、モモアカヒキガエル *Bufo glaberrimus* など数種と共に、キンイロヒキガエル種群を成す。本種は前記2種と姿が似ているが、フロンベルグヒキガエルは本種ほど鼓膜が明瞭でなく直径も小さい。また、モモアカヒキガエルでは後肢が本種より長いことで区別できる。

●飼育下での繁殖 ごくまれ

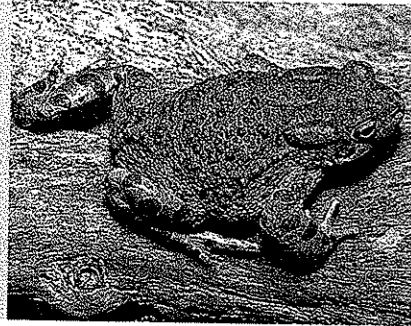
## ミドリヒキガエル

学名：*Bufo viridis*

分布：ヨーロッパ、中国、アフリカ、その他

体長：9 cm

特徴：オリーブ色から茶褐色の体に緑色のスポット模様を持つ中型のヒキガエル。色彩には個体差があり、非常に美しいものもある。自然下では乾燥した地域に生息し、日中は物陰に潜んでいることが多い。飼育下ではトカゲを飼うような乾燥したケージをセットし、全身が入るような水容器を常設する。飼育開始当初はシェルターがあった方が良い。餌には昆虫などを与えるが、慣らせばピンセットから肉片などを与えることもできる。



## キンイロヒキガエル

学名：*Bufo guttatus*

分布：南米

体長：12cm

特徴：他種のヒキガエルよりも体型や四肢が細長く、やや雰囲気異なる。また、耳腺が発達している点や、体側と背部の色彩がきれいに分かれているのも本種の特徴と言える。この仲間の多くは完全な陸上生活者で、ほとんど水には入らない。ヒキガエルの仲間はその容姿やイメージから好き嫌いが分かれるところだが、種類が豊富で美しいものも少なくなく、丈夫で物怖じしない性格から、飼育動物として向いている。



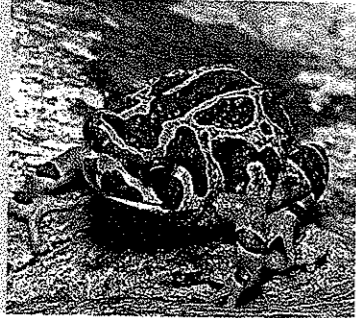
## アミメスキアシヒメガエル

学名：*Scaphiophryne pustulosa*

分布：マダガスカル

体長：4 cm

特徴：比較的最近になって輸入され始めた仲間で、同属のマダラスキアシヒメ (*S. marmorata*) も見られる。丸くコロコロとした印象の陸棲のカエルで、おそらくほとんど水には入らない。あまり活動的ではなく飼育下ではジッとしていることが多いが、意外と跳躍力は優れている。飼育は容易だが、口が小さいうえに、大食なので小型の昆虫の確保が大変である。本属は6種が知られるが、この2種以外はあまり輸入されない。



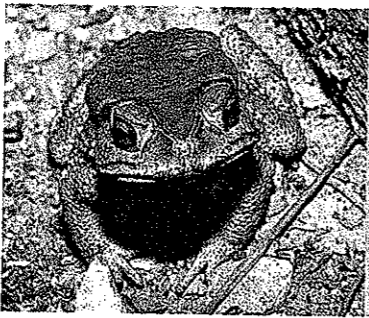
## ヘリグロヒキガエル

学名：*Bufo melanostictus*

分布：東南アジア

体長：10cm

特徴：分布域ではごく普通のヒキガエル。民家の付近などに好んで生息しており、写真の個体も山小屋の側溝で発見したもの。人が近づいても逃げもせずじっとしているのは日本のヒキガエル同様。この物怖じしない性格は飼育下でも同様で、ピンセットから餌をとるように慣らすのはもちろんのこと、皿の上に置いた肉片を差し出しただけで食べる個体もいるほどだ。この仲間は魅力的な種類が多いが、同定が困難なのが難点。



## マンテラ

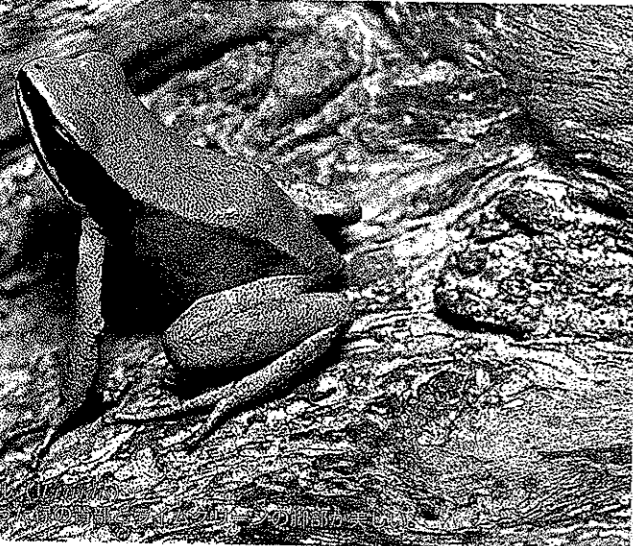
和名：アデガエル

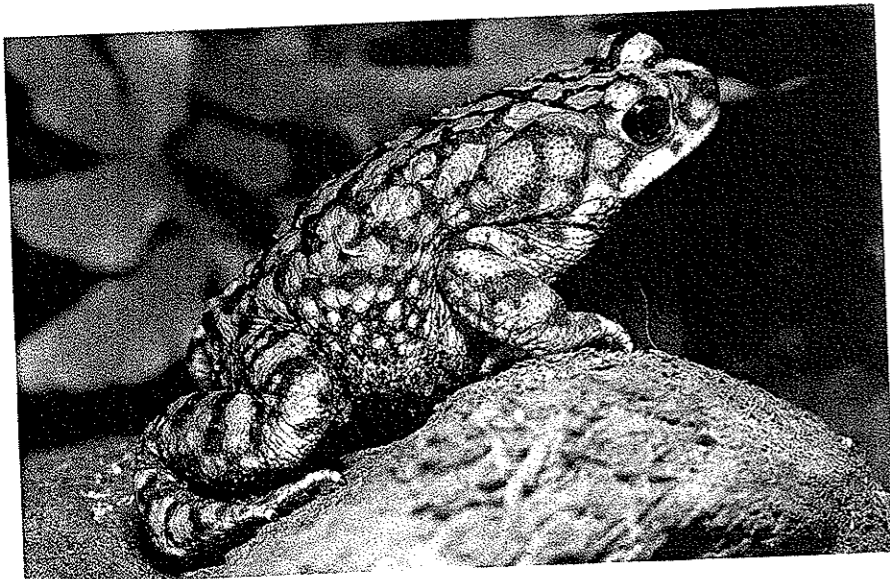
学名：*Mantella* spp.

分布：マダガスカル

体長：2～3 cm

特徴：以前はマダガスカルキンイロガエルという名称でキンイロアデガエル程度しか輸入されていなかったが、最近では少なくとも5～6種類の入荷がある。種類によって体色は違うが、判別の難しい似たような色彩を持つ種もいる。非常に体が小さいだけに体力がなく、餌を切らすとあっけなく死んでしまう。コンスタントに餌さえ確保できれば飼育自体は難しいものではない。基本的には地上性だが、木に登る種類もいる。





**ソノラミドリヒキガエル**  
学名/*Bufo retiformis* ヒキガエル科  
分布/メキシコのソノラ州中西部から合衆国アリゾナ州中西部まで。



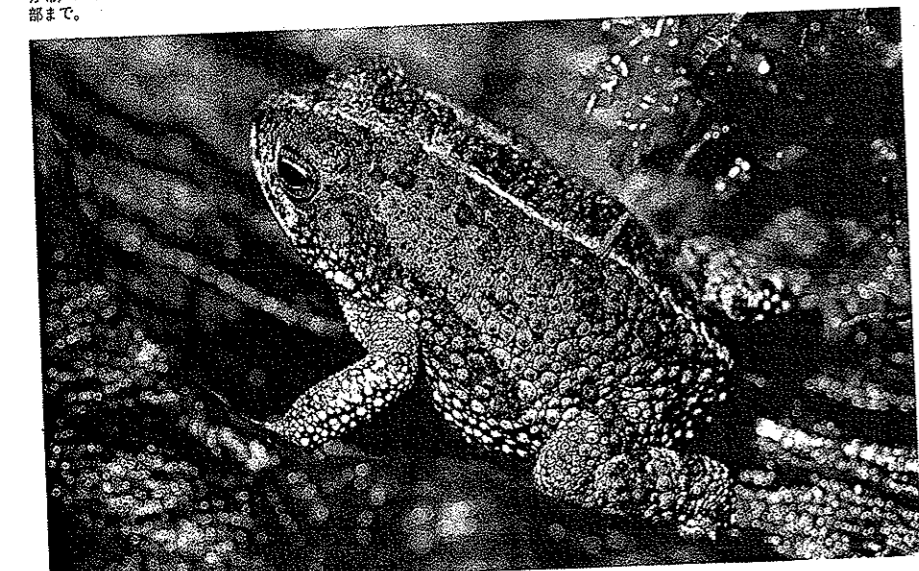
**キンイロヒキガエル**  
学名/*Bufo guttatus* ヒキガエル科  
分布/エクアドル・コロンビア・ギアナ3国、ベネズエラ、ブラジルのアマソナス州及び中部。



**アメリカミドリヒキガエル**  
学名/*Bufo debilis* ヒキガエル科  
分布/合衆国カンザス州南西部からメキシコ湾岸まで。



**ワンガンヒキガエル**  
学名/*Bufo valliceps* ヒキガエル科  
分布/合衆国ルイジアナ州からメキシコ東部にかけてのメキシコ湾岸。ユカタン半島からコスタリカにかけての太平洋岸。



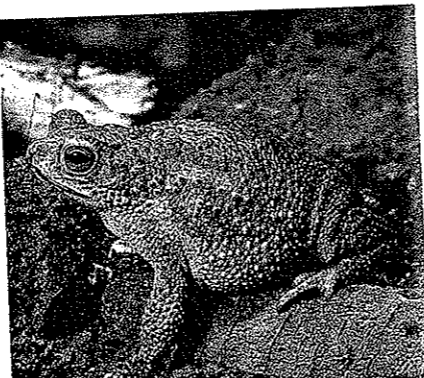
**オークヒキガエル**  
学名/*Bufo quercicus* ヒキガエル科  
分布/合衆国ルイジアナ州南西部からヴァージニア州南西部にかけての沿岸地方、及びフロリダ半島に分布。



**アカボシヒキガエル**  
学名/*Bufo punctatus* ヒキガエル科  
分布/合衆国カリフォルニア州南西部からカンザス州西部以南、メキシコのサルティボシまで、カリフォルニア半島にも分布。



**コロラドヒキガエル**  
学名/*Bufo alvarius* ヒキガエル科  
分布/合衆国カリフォルニア州南端からニューメキシコ州までを北限とし、南はメキシコのシナロア州北部まで。



**サメハダヒキガエル**  
学名/*Bufo granulosus* ヒキガエル科  
分布/パナマからギニア3国より南方ペルー北東部、ボリビア東部、パラグアイ北西部、アルゼンチン北東部。

**ソノラミドリヒキガエル**

体長38~57mmと小型のヒキガエルで、サイテスの付属書IIにリストアップされている。乾燥気味の草地や灌木のある砂漠地帯などに棲む。降雨期の6~7月頃繁殖し、この時期産卵池には多数の個体が集まるが、他の時期にはあまり多く見られない。本種減少の原因は環境破壊よりもむしろペットトレーディングであるといわれる。

**キンイロヒキガエル**

森林棲の大型ヒキガエルで、落ち葉に覆われた林床を好む。また、同じような環境に生息するコノハヒキガエル*Bufo typhonius*に比較するとより低地に棲む。コロンビアとエクアドルでは海拔500m以上の森では見られない。体長100mmを越し、大英博物館には177mmの標本がある。ブロンベルグヒキガエル*B. blombergi*などよく似た2~3種があり、*Bufo anderssoni*が本種のシノニムであるという見方もある。

**オークヒキガエル**

合衆国最小のヒキガエルで、体長20~30mm。明色の背中線と赤色の瘤といった特徴で他種と区別できる。海浜部の草地や森に棲む。

生息数は多い。よく昼でも活動しているのが見られ、昆虫やクモを食べる。ヒヨコのような声のメイティングコールを行い、30cm以下の浅い水溜まりや溝などに産卵する。卵は他のヒキガエルのようなひも状ではなく、2~8個の卵がひと続きになったチェーン状で、約700卵を産む。

**アカボシヒキガエル**

砂漠のオアシスや開けた草原、峡谷の岩場などに棲み、特に岩を好み割れ目に潜んだり登ったりする。繁殖期は4月から9月にかけて、間欠的な流れにできた一時的な水溜まりや貯水池に産卵する。卵は1粒ずつゼラチン質に包まれ、数個ずつつながって産まれる。幼生の体は黒色で、尾は白っぽく多数の黒い斑がある。体長40~75mm。

**サメハダヒキガエル**

南米大陸北部に広く分布し、11の亜種に分けられていたが、その中には分布域が重なるものもあり、分類学的な課題は残る。写真の個体はアルゼンチン、ボリビア、パラグアイに分布する*B.g.majior*ではないかと思われる。生活史について詳しいことは知られていないが、早春から夏にかけて繁殖する。チャ

コ地帯に棲む体長55mmほどの小型のヒキガエルである。

**オオヒキガエル**

本種はサトウキビの害虫であるハイロカンショコガネを駆除するために世界中に移入された巨大な生物農薬である。自然分布は合衆国のテキサス州のリオ・グランデの辺りから中米、南米北部（ブラジル中部、ペルー）に至るまで。人為分布はギアナから同じフランス領のマルチニーク島に移入されて以来、アンチル諸島、ハワイ、フィジー、モーリシャス、フィリピン、ソロモン、ニューギニア、オーストラリア、台湾などに広がり、日本の小笠原や石垣島へも移入された。

**アメリカミドリヒキガエル**

プレーリーなど乾燥気味の地域で岩などの下に隠れており、夏の降雨時などに多く見られる。薄明時に活動し、3月から9月にかけて、水の状態により産卵する。水が少ないときは繁殖しないこともある。体長32~54mm。トウミドリヒキガエル*B.d.debilis*、セイブミドリヒキガエル*B.d.insidiosor*の2亜種が知られる。

**ワンガンヒキガエル**

分布域の大半は基亜種が占めるが、メキシコとグアテマラには別に2亜種がいる。体長50~130mm。湾岸のプレーリーや砂防林から側溝など様々な場所に棲むが、湿った所を好む。薄明時に活動し、街灯に集まる昆虫を捕らえることがある。合衆国では3月から9月にかけてが繁殖期で、ゼラチンが2重になった長いひも状の卵塊を産む。1本の卵塊で3cm当たり5~10個の卵が入っている。

**コロラドヒキガエル**

体長150mmを超える大型のヒキガエル。後肢にもよく発達した毒腺の隆起をもつ。若い個体ではいぼの縁が黒っぽい。毒性はかなり強いとされる。全体的に滑らかな皮膚からの印象と異なり砂漠に棲む。枯れることのない泉などの水場だけでなく、水から相当離れた草地などでも見つかる。夜行性で昆虫、クモ、トカゲ、他のカエルなどを食べる。5~7月に繁殖し、幼生は全長57mmほどになる。



**オオヒキガエル**  
学名/*Bufo marinus* ヒキガエル科



巨大なオオヒキガエルも変態直後は、こんなに小さい